

政策シート

政策名

06 保健予防と食の安全対策の推進

予算費目名

01 保健衛生検査費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

05 健康・福祉

理想の姿

(30年後)

◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱

(10年後)

◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策

02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

近年、新型インフルエンザを始めとする新興感染症など、人間の生命を脅かす諸問題が数多く発生しており、微生物検査、食品分析に関する技術的中核施設としての役割は益々重要となっている。このような中、分析体制を整備し感染症や食中毒等の原因をいち早く特定することにより、健康で安心できる市民生活を確保する。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	160,954	229,382	248,013	238,611	239,098	210,339
決算	154,291	216,491	233,736	168,496	222,236	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	112,200	112,200	113,120	110,600	110,600	109,900
年間経費(予算又は決算+A+B)	266,491	328,691	346,856	279,096	332,836	320,239

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
本事業における年間計画検体数に対する実施検体数の割合	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
食中毒・感染症に関わる微生物の調査研究件数	件	目標	2	2	2	2	2	2
		実績	3	0	1	2	4	
食品残留農薬等検査に関する調査研究の件数	件	目標	2	2	2	2	2	2
		実績	2	1	2	2	2	

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

微生物検査や食品分析の分析体制を整備し感染症や食中毒等の原因をいち早く特定することにより、健康で安心できる市民生活を確保するため事業を推進した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>

計画通り

- ・新型コロナウイルス等の感染症や食中毒等について依頼に応じた検査を実施した。
- ・食品の妥当性評価・放射性物質検査も計画通り実施でき、検査結果も問題なかった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	保健環境研究所管理運営事業	—	—		192,284	171,984	2.9				
2	食中毒、感染症検査事業	—	○		69,107	24,307	6.0			1.0	
3	食品残留農薬等検査事業	—	○		49,515	10,875	5.4			0.3	
4	食品等放射性物質検査事業	—	—		9,333	3,173	0.6			0.7	
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					320,239	210,339	14.9			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 01	所属コード 001071000	事業 01	(担当課) 保健環境研究所	(責任者) 山下 としえ	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 保健環境研究所管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

感染症検査・食品分析や環境測定の技術的中核施設である浜松市保健環境研究所の適切な運営維持管理事業を行うことにより、その役割を果たすとともに、健康で安心できる市民生活を確保していく。また、経費の節減を図り、効率的な施設運営を行っていく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1999	—	一般会計	自治事務(法令義務)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	133,240	171,585	133,454	144,080	204,407	171,984
	決算	127,556	165,193	129,634	139,004	195,616	
	国・県支出	5,652	43,775	10,583	4,017	10,180	7,760
	市債						
	その他						
	一般財源	121,904	121,418	119,051	134,987	185,436	164,224
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	20,300
人工	正規	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		148,556	186,193	150,634	160,004	216,616	192,284

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間電気使用量(2008年度655,296kWhと比較し、毎年1%つつ削減)(kWh)		目標	575,000	570,000	565,000	560,000	555,000	550,000
		実績	432,476	431,048	403,547	404,004	363,531	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

保健環境研究所管理運営事業

- 庁舎、設備等の維持管理
 - ・庁舎清掃、設備等の保守管理及び樹木刈込みなどの業務委託を行った。
- 廃棄物等の処理業務
 - ・産業廃棄物、廃医薬品等の処理について、専門業者に業務委託を行った。
- 資源の有効利用
 - ・太陽光発電設備や雨水貯留設備など省資源に配慮した設備管理を行った。
- 分析用機器の整備・点検
 - ・精密検査機器の整備・点検を行った。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- 空調設備について、策定した更新計画に沿って、公共建築課の協力の元、微生物安全実験室等の空調工事を行った。
- 産業廃棄物、廃医薬品の処理について、適正に業務を行った。
- 太陽光発電設備や雨水貯留設備など省資源に配慮した設備管理について適正に実施できた。
- 精密検査機器の整備及び点検について計画的に実施できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

昨今の世界情勢に起因した光熱費の上昇や、機器類・試薬等の納入遅延が問題となっている。また、分析に必要なキャリアガスの供給不安により、機器の仕様変更などの対応が必要となっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・事業の実施結果を精査し、計画通り適切に実施されていることを確認した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

庁舎の修繕、空調設備の順次更新を軸とし、保健環境研究所の良好な環境を築いていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

保健環境研究所管理運営事業

- 庁舎、設備等の維持管理
 - ・庁舎清掃、設備等の保守管理及び樹木刈込みなどの業務委託を行う。
- 廃棄物等の処理業務
 - ・産業廃棄物、廃医薬品等の処理について、専門業者に業務委託を行う。
- 資源の有効利用
 - ・太陽光発電設備や雨水貯留設備など省資源に配慮した設備管理を行う。
- 分析用機器の整備・点検
 - ・精密検査機器の整備・点検を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 01	所属コード 001071000	事業 02	(担当課) 保健環境研究所	(責任者) 山下 としえ	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 02 食中毒、感染症検査事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

食中毒・感染症の発生防止のための監視・指導に関する検査、および発生時の原因追求のための検査などを実施することにより、健康で安心できる市民生活を確保する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、食品衛生法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	食中毒・感染症の検査などを実施することにより、健康で安心できる市民生活を確保する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	14,853	44,763	101,625	80,397	20,557	24,307
	決算	14,583	39,802	91,654	16,068	13,556	
	国・県支出	4,978	22,269	49,140	9,666	6,921	7,398
	市債						
	その他						
	一般財源	9,605	17,533	42,514	6,402	6,635	16,909
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		45,600	45,600	44,800	44,800	44,800	44,800
人工	正規	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	再任用(31h)	1.0	1.0				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			1.0	1.0	1.0	1.0
年間経費(予算又は決算+A+B)		60,183	85,402	136,454	60,868	58,356	69,107

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
本事業における年間計画検体数に対する実施検体数の割合(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
食中毒・感染症に関わる微生物の調査研究件数(件)		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	3	0	1	2	4	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 感染症および感染症発生動向調査に関する検査
 - ・患者検体から新型コロナウイルス感染症、腸管出血性大腸菌、感染性胃腸炎などの原因病原体を検査した。
- 特定感染症事業に関する検査
 - ・血液中のHIV、梅毒などの検査を実施した。
- 食品中の細菌検査
 - ・食品衛生法に定めのある一般細菌数、大腸菌群などを検査した。
- 食中毒に係る原因菌などの検査
 - ・食品や患者検体からノロウイルス、カンピロバクターなど食中毒の原因病原体を検査した。
- 公衆衛生および環境水質に関する細菌検査
 - ・プール水、公衆浴場水、海水浴場水、事業場排水などの基準項目を検査した。
- 調査研究
 - ・食中毒・感染症に関わる事項についての調査研究を実施した。
- 健康危機管理体制の強化
 - ・保健所が策定する予防計画等との整合性を確保しながら、「健康危機対処計画」を策定した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 感染症および感染症発生動向調査の微生物検査を実施した。
- 特定感染症事業に関する検査を実施した。
- 食品中の細菌検査を実施した。
- 食中毒の微生物検査を実施した。
- 公衆衛生および環境水質に関する細菌検査を実施した。依頼課のPFAS対応により事業場の検査を中止した。
- 調査研究を実施した。
- 健康危機管理体制強化のため健康危機対処計画を策定した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和5年4月1日の地域保健法の改正により、新興・再興感染症の感染拡大やその他の健康危機に対応するための体制強化の取り組みを進める必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新型コロナウイルス感染症が「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」から「5類感染症」に移行されたことにより、感染症としての重要度が低下し、保健環境研究所へ持ち込まれる検体(病原体検査及びゲノム解析)数が減少した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・検査器具及び試薬類の見直し、検査法の適正化などを検討する。
- ・検査対応項目の充実を行うことで、年々増加する検査依頼課からの依頼に対応する。
- ・平時のうちに健康危機に備えた準備を計画的に進める。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 感染症および感染症発生動向調査に関する検査
 - ・患者検体から腸管出血性大腸菌、感染性胃腸炎などの原因病原体を検査する。
 - ・患者検体から新型コロナウイルス感染症ゲノム解析を実施する。
- 特定感染症事業に関する検査
 - ・血液中のHIV、梅毒などの検査を実施する。
- 食品中の細菌検査
 - ・食品衛生法に定めのある一般細菌数、大腸菌群などを検査する。
- 食中毒に係る原因菌などの検査
 - ・食品や患者検体からノロウイルス、カンピロバクターなど食中毒の原因病原体を検査する。
- 公衆衛生および環境水質に関する細菌検査
 - ・プール水、公衆浴場水、海水浴場水、事業場排水などの基準項目を検査する。
- 調査研究
 - ・食中毒・感染症に関わる事項についての調査研究を実施する。
- 健康危機管理体制の強化
 - ・「健康危機対処計画」に基づき実践型訓練の実施の検討を進める。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 01	所属コード 001071000	事業 03	(担当課) 保健環境研究所	(責任者) 山下 としえ	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 食品残留農薬等検査事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

食品等の安全性を確保するため、公衆衛生の見地から必要な検査を実施し、健康で安心できる市民生活を確保する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	食品衛生法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの 関連性	食品等の安全性を確保するための検査を実施し、健康で安心できる市民生活を確保する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	9,401	9,575	9,575	10,875	10,875	10,875
	決算	9,021	8,316	9,245	10,284	9,923	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	9,021	8,316	9,245	10,284	9,923	10,875
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		38,880	38,880	38,640	38,640	38,640	38,640
人工	正規	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4
	再任用(31h)	0.3	0.3				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.3	0.3	0.3
年間経費(予算又は決算+A+B)		47,901	47,196	47,885	48,924	48,563	49,515

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
本事業における年間計画検体数に対する実施検体数の割合(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
食品残留農薬等検査に関する調査研究の件数(件)		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	2	1	2	2	2	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 食品の検査
 - ・残留農薬、動物用医薬品、添加物、有害物質等の検査を実施した。
 - ・農薬及び動物用医薬品の試験法の妥当性評価を実施した。
- 家庭用品の検査
 - ・ホルムアルデヒド等の検査を実施した。
- 健康食品の検査
 - ・医薬品成分の検査を実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 依頼のとおり検査を実施し、検査結果を報告した。
- 試験法の妥当性評価を実施した。(残留農薬:トマト、葉ネギ 動物用医薬品:カレイ目、サケ目)
- 「クワズイモによる食中毒を想定した検査方法の検討」「家庭用品中のトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、メタノールの試験法について」について調査研究を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

食品添加物分析法の妥当性確認ガイドラインが発出されたため、対応していく必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画通り適切に実施された。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 検査依頼課の依頼に応じた検査をさらに正確迅速に実施するため、技術の向上に努める。
- 機器更新に伴う妥当性再評価および食品添加物分析法の妥当性確認が必要となってくるため、計画的に実施していく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 食品の検査
 - ・残留農薬、動物用医薬品、添加物、有害物質等の検査を実施する。
 - ・残留農薬等試験法の妥当性評価を実施する。
- 家庭用品の検査
 - ・ホルムアルデヒド等の検査を実施する。
- 健康食品の検査
 - ・医薬品成分の検査を実施する。

事業シート

(事業名) 04 食品等放射性物質検査事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

食品等の放射性物質を検査することにより、市民の食品に対する不安を解消する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2011	—	一般会計	自治事務(法令義務)	食品衛生法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,460	3,459	3,359	3,259	3,259	3,173
	決算	3,131	3,180	3,203	3,140	3,141	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,131	3,180	3,203	3,140	3,141	3,173
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,720	6,720	8,680	6,160	6,160	6,160
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(31h)	0.7	0.7	0.7			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.7	0.7	0.7	0.7
年間経費(予算又は決算+A+B)		9,851	9,900	11,883	9,300	9,301	9,333

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
年間計画検体数に対する実施検体数の割合(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○流通食品の放射性物質の検査を実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

○依頼のとおり流通食品の放射性物質の検査を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
計画通り適切に実施された。今後も検査依頼関係課と随時調整を図っていく。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
○検査依頼課の依頼に応じた検査をさらに正確迅速に実施するため、技術の向上に努める。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

○流通食品の放射性物質の検査を実施する。

政策シート

政策名
06 保健予防と食の安全対策の推進

予算費目名
02 食肉衛生検査費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
05 健康・福祉

理想の姿 (30年後)	◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。
政策の柱 (10年後)	◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策
02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

食肉に起因する健康被害の発生防止を図り、市民の心身の健康を守るために、安全で衛生的な食肉の生産を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	18,041	19,289	16,929	16,375	18,292	16,771
決算	16,754	17,446	15,334	14,847	16,688	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	97,600	96,800	89,800	89,800	89,800	89,800
年間経費(予算又は決算+A+B)	114,354	114,246	105,134	104,647	106,488	106,571

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
と畜場施設及び食鳥処理場施設において、衛生監視を行う。	回	目標	24	24	24	24	24	24
		実績	24	24	24	24	24	
食鳥処理場において、高病原性鳥インフルエンザ・スクリーニング検査を行う	検体	目標	70	70	70	70	70	70
		実績	92	161	103	179	187	
と畜場施設及び枝肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行う。	回	目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12	

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

食肉に起因する健康被害の発生防止を図り、市民の心身の健康を守るために、安全で衛生的な食肉の生産を推進した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
と畜場施設及び食鳥処理場施設において衛生監視を実施し、施設ごと、月ごとに結果に基づいた指導を行った。食鳥処理場における高病原性インフルエンザ・スクリーニング検査羽数は187羽であり、目標を達成した。と畜場施設及び枝肉についての微生物検査を根拠とした監視指導は計画どおりに進められた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	食肉安全対策推進事業	－	○		105,716	15,916	9.0	2.0		7.0	
2	食肉衛生検査デジタル運営経費	－	－		855	855					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					106,571	16,771	9.0	2.0		7.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 食肉安全対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

衛生的な食肉生産のため、と畜場に搬入される牛・豚などの検査や食鳥処理場に搬入される鶏の検査を行うほか、安全な食肉生産環境の保持を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	-	一般会計	自治事務(法令義務)	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、牛海綿状脳症対策特別措置法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	18,041	19,289	16,074	15,520	17,437	15,916
	決算	16,754	17,446	14,480	13,993	15,834	
	国・県支出	264	264	264	264	264	264
	市債						
	その他	16,490	17,182	14,216	13,729	15,570	15,652
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		97,600	96,800	89,800	89,800	89,800	89,800
人工	正規	10.0	10.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	再任用(31h)	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
年間経費(予算又は決算+A+B)		114,354	114,246	104,280	103,793	105,634	105,716

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
衛生管理達成率(食肉の生産を検査等衛生 指標から総合的に評価)(%)		目標	96	96	96	96	96	96
		実績	97	99	97	97	98	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	06	02	001071000	01	保健環境研究所	山下 としえ	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・牛、豚等のと畜検査
 - ①と畜場に搬入される牛、豚等について法律に基づき一頭ごとの検査を行い、食用の適否を判定した。
 - ②と畜場に搬入される生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの、及び、全身症状を呈する牛について牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査を行った。
- ・鶏の食鳥検査
 - ①食鳥処理場に搬入される鶏について法律に基づき一羽ごとの検査を行い、食用の適否を判定した。
 - ②食鳥処理場において高病原性鳥インフルエンザ・スクリーニング検査を行った。
- ・と畜場等の衛生検証、食肉の残留有害物質検査
 - ①と畜場施設及び枝肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行った。
 - ②食鳥処理場施設及び食鳥肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行った。
 - ③食肉中の残留有害物質を検査し、動物用医薬品等が残留する食肉を排除した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

食肉の生産を検査等衛生指導から総合的に評価する衛生管理達成率の目標値96%の設定を達成できた。これは、HACCPに基づいた衛生管理の導入準備を行うなか、各事業者が行うべき生産現場の衛生管理意識が向上しており、食肉への微生物汚染防止が徹底された結果である。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

厚生労働省健康・生活衛生局長通知による伝達性海綿状脳症検査実施要領の改正が令和6年4月1日に施行され、これまで症状の有無に関わらず生後24 か月齢以上の牛がBSE検査対象となっていたが、月齢による検査対象区分「生後24 か月齢以上」が削除され、と畜場における生体検査において行動異常又は神経症状を呈する牛となったため、BSE検査対象の牛が大幅に減少することが想定される。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

と畜場施設及び枝肉の微生物検査による衛生検証において、評価が続けて「注意が必要」となった箇所がいくつか見られたが、全体としては目標を達成できている。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

衛生検証において「注意が必要」と評価された箇所を重点的に指導し、引き続き各事業者が行うべき生産現場の衛生管理意識の向上に努めていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・牛、豚等のと畜検査
 - ①と畜場に搬入される牛、豚等について法律に基づき一頭ごとの検査を行い、食用の適否を判定する。
 - ②と畜場に搬入される牛のうち、生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの、及び、全身症状を呈する牛について牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査を行う。
- ・鶏の食鳥検査
 - ①食鳥処理場に搬入される鶏について法律に基づき一羽ごとの検査検査を行い、食用の適否を判定する。
 - ②食鳥処理場において高病原性鳥インフルエンザ・スクリーニング検査を行う。
- ・と畜場等の衛生検証、食肉の残留有害物質検査
 - ①と畜場施設及び枝肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行う。
 - ②食鳥処理場施設及び食鳥肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行う。
 - ③食肉中の残留有害物質を検査し、動物用医薬品等が残留する食肉を排除する。
 - ④と畜場施設及び食鳥処理場施設において、HACCPに基づいた衛生監視を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 02	所属コード 001071000	事業 02	(担当課) 保健環境研究所	(責任者) 山下 としえ	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 02 食肉衛生検査デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

保健環境研究所(食肉衛生検査費)のデジタルに関連する事業

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			855	855	855	855
	決算			854	854	854	
	国・県支出						
	市債						
	その他			854	854	854	855
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				854	854	854	855

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・と畜検査で使用している食肉衛生検査システムの保守業務を実施した。
- ・食肉衛生検査システムで使用している機器の賃貸借業務を実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・と畜検査で使用している食肉衛生検査システムの保守業務を実施した。
- ・食肉衛生検査システムで使用している機器の賃貸借業務を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・と畜検査で使用している食肉衛生検査システムの保守業務を実施する。
- ・食肉衛生検査システムで使用している機器の賃貸借業務を実施する。

政策シート

政策名

06 保健予防と食の安全対策の推進

予算費目名

03 環境監視費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

05 健康・福祉

理想の姿
(30年後)

◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱
(10年後)

◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策

02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

市民の健康や生活環境に影響を及ぼす大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、廃棄物等の問題については、市民の関心も高まっており、次世代に快適な環境を引き継ぐことが強く求められている。保健環境研究所は、工場や事業場からの排出物の測定や環境の監視測定などを通して、市民が健康で安心な生活を確保することができる「快適な環境」を目指して業務の推進を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	76,479	74,213	76,055	87,931	83,713	88,782
決算	70,489	70,913	74,015	83,460	78,805	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	59,600	56,000	59,600	59,600	58,800	59,500
年間経費(予算又は決算+A+B)	130,089	126,913	133,615	143,060	137,605	148,282

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
大気汚染、悪臭等の依頼検査実施率(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
河川、工場等の水質依頼検査実施率(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

工場や事業場からの排出物の測定や環境の監視測定などを通して、市民が健康で安心な生活を確保することができる「快適な環境」を目指して業務を推進した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>

計画通り

2023年度目標どおり、大気汚染、悪臭、河川、工場排水等の検査依頼について100%実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	大気汚染、悪臭等測定事業	－	○		81,316	60,316	3.0				
2	河川、工場排水等水質測定事業	－	○		61,331	22,831	5.1			1.0	
3	環境監視デジタル運営経費	－	－		5,635	5,635					
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					148,282	88,782	8.1			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 03	所属コード 001071000	事業 01	(担当課) 保健環境研究所	(責任者) 山下 としえ	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 大気汚染、悪臭等測定事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大気汚染状況の常時測定や悪臭、騒音等の測定を実施し、快適な生活環境を保全する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971	—	一般会計	法令受託事務	大気汚染防止法、悪臭防止法、騒音規制法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健								
事業とゴールの 関連性	大気汚染等の状況を把握し、人の健康や生活環境を保全する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	56,155	54,716	50,173	54,389	57,396	60,316
	決算	51,071	51,695	49,277	52,783	53,603	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	51,071	51,695	49,277	52,783	53,603	60,316
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		16,540	16,800	21,000	21,000	21,000	21,000
人工	正規	1.9	2.4	3.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(31h)	0.9					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		67,611	68,495	70,277	73,783	74,603	81,316

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
大気汚染、悪臭等の依頼検査実施率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
大気汚染、悪臭等の調査研究件数(件)		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	2	1	3	0	1	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	06	03	001071000	01	保健環境研究所	山下 としえ	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 大気汚染物質の監視測定
有害大気汚染物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質(PM2.5)等の監視測定を行った。(一部委託)
- 大気汚染常時監視システム等の維持管理
大気汚染常時監視システムや大気汚染自動測定機等の保守管理を行った。(委託)
- 事業場への立入検査に伴う測定
立入検査に伴う悪臭等の測定を行った。
- 臭気、騒音振動の測定
市民からの苦情に伴う臭気や騒音振動に係る測定を行った。(一部委託)
- 調査研究
大気汚染、悪臭等に係る事項についての調査研究を行った。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・有害大気汚染物質他、大気環境基準項目等の測定について、計画通り実施した。
- ・大気汚染を常時監視する自動測定機の保守管理では、常時監視結果において国が定めた目標値(80%)を上回る有効な測定時間を確保することができた。
- ・騒音振動の測定は、新幹線騒音等について計画通り実施した。
- ・大気汚染、悪臭等に係る調査研究は、目標の1件実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

有害大気汚染物質の検査項目である六価クロムが優先取組み項目としてその方法が示されたため、測定方法について、検討した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画検査及び苦情等による臨時検査に対応することに加えて、大気汚染・悪臭等に係る調査研究を継続的に実施・発表できるよう業務の効率化をより進めていく。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 大気汚染物質の監視測定
有害大気汚染物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質(PM2.5)等の監視測定を行う。(一部委託)
- 大気汚染常時監視システム等の維持管理
大気汚染常時監視システムや大気汚染自動測定機等の保守管理を行う。(委託)
- 事業場への立入検査に伴う測定
立入検査に伴う悪臭等の測定を行う。
- 臭気、騒音振動の測定
市民からの苦情に伴う臭気や騒音振動に係る測定を行う。(一部委託)
- 調査研究
大気汚染、悪臭等に係る事項についての調査研究を行う。

事業シート

(事業名) 02 河川、工場排水等水質測定事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

河川や地下水等の水質汚濁状況の監視測定、特定事業場の排水、産業廃棄物関係及び公衆衛生関係の検査を実施し、市民の快適な生活環境を保全する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	－	一般会計	法定受託事務	水質汚濁防止法、廃棄物処理法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	－	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健								
事業とゴールの 関連性	水質汚濁等の状況を把握し、人の健康や生活環境を保全する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	20,324	19,497	19,696	20,755	20,214	22,831
	決算	19,418	19,218	18,781	19,670	19,558	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	19,418	19,218	18,781	19,670	19,558	22,831
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		43,060	39,200	38,600	38,600	37,800	38,500
人工	正規	6.1	5.6	5.0	5.0	5.0	5.1
	再任用(31h)	0.1		1.0	1.0		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					1.0	1.0
年間経費(予算又は決算+A+B)		62,478	58,418	57,381	58,270	57,358	61,331

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
公共用水域等の水質汚濁物質の依頼検査 実施率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
水質汚濁事故時・緊急時(計画外)の依頼検査 実施率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
河川、工場排水等に係る調査研究件数(件)		目標	2	2	2	2	2	1
		実績	2	2	1	2	2	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 公共用水域等の測定
 - ・河川、湖沼及び地下水等の水質測定を行った。(一部委託)
- 水質特定事業場の排水の測定
 - ・特定事業場の排水の測定を行った。
- 産業廃棄物関係の測定
 - ・産業廃棄物(汚泥、燃え殻)及び最終処分場浸出液の水質測定を行った。
- 水質汚濁事故時・緊急時対応
 - ・水質事故による河川水等の測定を行った。
- 調査研究
 - ・河川、工場排水等に係る事項についての調査研究を行った。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・公共用水域等の依頼検査は、計画通り実施した。
- ・水質特定事業場排水の測定については、依頼課の都合で中止となった。
- ・産業廃棄物関係の測定を依頼通り実施した。
- ・河川、工場排水等に係る調査研究を計画通り実施した。
- ・水質汚濁事故時等の計画外の測定は、依頼通り実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
公共用水域等の水質汚濁物質の依頼検査、水質汚濁事故時・緊急時(計画外)の依頼検査、河川、工場排水等に係る調査研究は、それぞれ目標を達成することができた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
継続して、正確な検査結果を出すために標準作業手順書を充実させ、専門技術をもった職員を育成していく。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 公共用水域等の測定
 - ・河川、湖沼及び地下水等の水質測定を行う。(一部委託)
- 水質特定事業場の排水の測定
 - ・特定事業場の排水の測定を行う。
- 産業廃棄物関係の測定
 - ・産業廃棄物(汚泥、燃え殻)及び最終処分場浸出液の水質測定を行う。
- 公衆衛生関係の測定
 - ・プール水、浴槽水の水質測定を行う。
- 水質汚濁事故時・緊急時対応
 - ・水質事故による河川水等の測定を行う。
- 調査研究
 - ・河川、工場排水等に係る事項についての調査研究を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 03	所属コード 001071000	事業 03	(担当課) 保健環境研究所	(責任者) 山下 としえ	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 環境監視デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

保健環境研究所(環境監視費)のデジタルに関連する事業

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			6,186	12,787	6,103	5,635
	決算			5,957	11,007	5,644	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			5,957	11,007	5,644	5,635
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				5,957	11,007	5,644	5,635

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ・大気測定局のクラウドサーバー運用及びNTT回線を使用した。
- ・大気汚染常時監視クラウドシステム保守業務を実施した。
- ・大気汚染常時監視システムハードウェア及び子局装置等の賃貸借を実施した。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・大気測定局のクラウドサーバー運用及びNTT回線を使用した。
- ・大気汚染常時監視クラウドシステム保守業務を実施した。
- ・大気汚染常時監視システムハードウェア及び子局装置等の賃貸借を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ・大気測定局のクラウドサーバー運用及びNTT回線を使用する。
- ・大気汚染常時監視クラウドシステム保守業務を実施する。
- ・大気汚染常時監視システムハードウェア及び子局装置等の賃貸借を実施する。

政策シート 政策名 06 保健予防と食の安全対策の推進

予算費目名 04 食品衛生費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 05 健康・福祉

理想の姿
(30年後)

◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱
(10年後)

◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策 02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

○大規模食中毒(患者数100名以上)等、食品による市民の甚大な健康被害を未然に防止する。
○特定給食施設(100食/回又は250食/日以上 of 食事を提供する施設)の栄養改善を通じ、施設利用者の健康増進を図る。(指導強化対象施設:学校等厚生労働省の示す健康増進を目的とした施設)

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	24,379	18,311	17,996	14,439	15,966	18,247
決算	22,440	16,897	16,455	13,479	14,355	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	127,940	134,480	135,180	125,000	122,740	125,540
年間経費(予算又は決算+A+B)	150,380	151,377	151,635	138,479	137,095	143,787

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
飲食に起因する大規模食中毒の発生件数	件	目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	
対象施設利用者のうち、「肥満」と「やせ」が20%以下の施設の割合	(%)	目標	80	80	80	83	83	85
		実績	85.1	83.3	83.8	84.0	84.0	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

○大規模食中毒(患者数100名以上)等、食品による市民の甚大な健康被害を未然に防止した。
○特定給食施設(100食/回又は250食/日以上 of 食事を提供する施設)の栄養改善を通じ、施設利用者の健康増進を図った。(指導強化対象施設:学校等厚生労働省の示す健康増進を目的とした施設)

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

○食の安全対策推進事業
流通食品等の収去検査等を実施し、安全性を確認した。
講習会を実施し、食品衛生に関する知識の向上が図られた。
患者数100名を超える食中毒の発生はなかった。
○栄養指導
給食施設の栄養指導を行い栄養改善が図られた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	食の安全対策推進事業	－	○		133,785	15,245	14.1	0.3		6.7	
2	栄養指導事業	－	○		9,902	2,902	0.6	0.7		0.1	
3	食品衛生デジタル運営経費	－	－		100	100					
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					143,787	18,247	14.7	1.0		6.8	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 04	所属コード 001085000	事業 01	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 食の安全対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- 食品営業に関する許認可事務等当該施設の衛生状態の向上を図る。
○大規模食中毒等流通食品による健康被害を未然に防止する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)	食品衛生法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	○食品の衛生管理を維持向上することで、保健衛生の推進を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	23,244	18,075	13,616	13,307	14,778	15,245
	決算	21,481	16,725	12,203	12,462	13,299	
	国・県支出						
	市債						
	その他	16,445	14,252	11,546	12,462	13,299	15,245
	一般財源	5,036	2,473	657			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		118,140	124,680	125,380	115,200	115,740	118,540
人工	正規	14.9	15.8	15.5	13.8	14.1	14.1
	再任用(31h)	0.5	0.8	0.8	0.5	0.3	0.3
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.3	4.0	5.0	6.0	5.7	6.7
年間経費(予算又は決算+A+B)		139,621	141,405	137,583	127,662	129,039	133,785

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
違反が判明した施設の改善率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	06	04	001085000	01	生活衛生課	落合 公信	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 大量調理施設に対しHACCPに基づく監視指導を行った。
- 市場等流通拠点の監視指導を行った。
- GLPに基づく食品の検査を行った。
- 食品衛生の向上を図るための講習会を開催した。
- 自主衛生管理の推進に対し支援を行った。
- 食の安全に関する適切な情報をホームページに掲載した。
- 改正食品衛生法により新たに許可の対象となる業種に対し、情報提供や現地調査、助言を行った。また、営業届出業種には新たな届出制度の周知を行った。
- 営業許可に関する手続きの一部をオンライン化した。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 食中毒を起こした施設に対して適切に指導したため、被害の拡大防止及び再発防止が図られた。
- HACCPに沿った衛生管理の実施状況を把握し導入・支援を行うことで、食中毒や不良食品の発生を未然に防止した。
- 営業許可に関する手続きのオンライン申請を可能とし、申請者の利便性向上及び業務の効率化を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 改正食品衛生法に準拠し、HACCPに沿った衛生管理を普及させるため、営業許可期間の満了が近い飲食店営業施設に対し、WEBページの案内や講習会を実施し啓発を図った。
- 改正食品衛生法により新たに許可の対象となる業種の一部に対し現地調査や助言を行い、一部の施設が許可を取得した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 引き続き、HACCPに沿った衛生管理を普及させるため、講習会や監視を実施し啓発を図り、食品の安全性の向上に努める。
- 改正食品衛生法により、新たに許可の対象となる業種に対し、早期の許可取得に努める。(期限:令和6年5月31日)
- 営業許可申請事項のオンライン申請を拡充し、営業者の利便性の向上を図る。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 大量調理施設に対しHACCPに基づく監視指導を行う。
- 市場等流通拠点の監視指導を行う。
- GLPに基づく食品の検査を行う。
- 食品衛生の向上を図るための講習会を開催する。
- 自主衛生管理の推進に対し支援を行う。
- 食の安全に関する適切な情報をホームページに掲載する。
- 新たに許可の対象となる業種に対し、必要に応じて現地調査を行い、許可取得を促す。
- 営業許可申請事項のオンライン申請を進める。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 04	所属コード 001085000	事業 02	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 02 栄養指導事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

特定給食施設等利用者の健康増進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令事務)	健康増進法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	特定給食施設における栄養改善指導を進めることで健康の増進を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,135	236	249	1,110	1,166	2,902
	決算	959	172	121	995	1,034	
	国・県支出	854			842	883	2,616
	市債						
	その他						
	一般財源	105	172	121	153	151	286
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	9,800	9,800	9,800	7,000	7,000
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.4	0.6	0.6
	再任用(31h)					0.7	0.7
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					0.1	0.1
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,759	9,972	9,921	10,795	8,034	9,902

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
対象施設のBMI等把握施設の割合(%)		目標	70	70	70	73	73	75
		実績	92.8	93.4	92.8	91.9	92.1	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 特定給食施設等に対する一般的栄養改善指導を行った。
- 食品の栄養表示指導を行った。
- 国民健康・栄養調査を行った。
- 特定給食施設等栄養管理報告書のオンライン提出を可能とした。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- 特定給食施設等における、栄養管理状況の把握及び指導を進めたことにより、相互意識に基づく栄養改善が進展した。
- 特定給食施設等栄養管理報告書のオンライン提出を可能とし、事業者の利便性向上及び業務の効率化を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

- 国民健康・栄養調査を適切に行うことにより、厚生労働行政に必要な基礎資料を得ることができた。
- 特定給食施設等の栄養管理について、各施設の特性に合わせて適切な指導を行った。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 その他 / ICT化 事業費 現状 人工 現状

- 国民健康・栄養調査の事務処理手順を定着化させ、円滑な運用実施を目指す。
- 特定給食施設等に対し、施設の種類や規模に即した栄養指導を行い、施設に応じた適切な食事の供給を目指す。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 特定給食施設等に対する一般的栄養改善指導を行う。
- 体格指数(BMI)を用いた栄養改善指導(対象施設:学校等厚生労働省の示す健康増進を目的とした施設)を行う。
- 食品の栄養表示指導を行う。
- 国民健康・栄養調査を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 04	所属コード 000001085	事業 03	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 食品衛生デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

生活衛生課(食品衛生費)のデジタル関連事業に要する経費を執行し、業務の合理化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	食品衛生分野のデジタル事業を推進することにより、保健衛生の向上を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			4,131	22	22	100
	決算			4,131	22	22	
	国・県支出						
	市債						
	その他			3,908	22	22	96
	一般財源			223			4
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				4,131	22	22	100

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
トラブル発生時の改善率		目標			100.0	100.0	100.0	100.0
		実績			100.0	100.0	100.0	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

食品表示マニュアル電子版を適切に活用し、営業者への効率的な表示指導を行った。



5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

食品表示マニュアル電子版を必要に応じ、適切に活用することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

情報システム課から期間を定めて貸与されるパソコンを用い、出前講座や衛生講習会に対応していたが、当該パソコンの貸与期間が終了した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

営業者への効率的な表示指導を行うために、食品表示マニュアル電子版の有用性を検証していく。
自課でパソコンを配備し、出前講座や衛生講習会にいつでも対応できるようにする。



7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

食品表示マニュアル電子版を適切に活用し、営業者への効率的な表示指導を行う。
自課で配備したパソコンを活用し、出前講座や衛生講習会にて適切な指導を行い食品衛生の向上を図る。

政策シート

政策名
06 保健予防と食の安全対策の推進

予算費目名
05 水道会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
05 健康・福祉

理想の姿
(30年後)

◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱
(10年後)

◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策
02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

○滝沢町、鷺沢町に上水道を整備した際の借入金を、計画に基づいて償還していく。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	15,689
決算	14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	15,689

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
当該年の償還実施率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

○滝沢町、鷺沢町に上水道を整備した際の借入金を、計画に基づいて償還していく。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>
計画通り

毎年、年度末に事務処理を行っている。本年度も予算額通りに執行した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	滝沢、鷺沢町上水道整備事業負担金	—	—		15,689	15,689					
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					15,689	15,689					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 05	所属コード 001085000	事業 01	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 01 滝沢、鷺沢町上水道整備事業負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○滝沢町及び鷺沢町に安全で衛生的な飲料水を将来にわたり安定的に供給する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	2033	一般会計	自治事務(その他)	企業債償還債務

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性		○上水道未普及地域へ衛生的な飲料水を確保する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	15,689
	決算	14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	15,689
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		14,374	14,627	14,885	15,148	15,416	15,689

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
償還に関するトラブルの発生(件)		目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○2001年度から2015年度にかけて借り入れた企業債(財政融資と公庫の元金)349,100千円について、2007年度から2033年度までの間、27回にわたり償還する。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

○償還計画に基づき業務を遂行している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○企業債返還業務のため、計画に基づき執行した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○今後も、返還計画に沿って実施していく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

○2001年度から2015年度にかけて借り入れた企業債(財政融資と公庫の元金)349,100千円について、2007年度から2033年度までの間、27回にわたり償還する。

政策シート

政策名06 保健予防と食の安全対策の推進

予算費目名06 生活衛生費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野05 健康・福祉

理想の姿 (30年後)	◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。
政策の柱 (10年後)	◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。 ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策02 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

○生活衛生対策推進事業: 飲料水並びに旅館等衛生関係営業施設における市民の健康被害を未然に防止する。

○結核対策事業: 入院勧告・就業制限や処方薬剤の確実な服用等を指導するなど、結核のまん延を防止する。

○感染症対策事業: 感染症患者の移送・検体採取・調査等各感染症のまん延を防止する。また、性感染症や肝炎の検査・相談事業を実施し特定感染症患者の早期発見及び拡大防止を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑥水・衛生								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	62,570	308,496	947,009	1,773,142	333,365	80,712
決算	41,551	206,732	778,918	675,848	231,449	
人件費(報酬等)(A)	2,048	2,048	5,759	5,811	4,984	5,494
人件費(人工分)(B)	147,960	141,820	171,920	209,000	196,700	167,300
年間経費(予算又は決算+A+B)	191,559	350,600	956,597	890,659	433,133	253,506

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
飲料水並びに衛生関係営業施設における健康被害の発生件数	件	目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	
結核対策・予防事業 結核罹患率(人口10万人当たり)	人	目標	11	11	11	11	10	10
		実績	10.9	10.7	11.9	9.2	7.6	
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)政策評価

(1) 前年度(2023年度)実施内容

○生活衛生対策推進事業: 飲料水並びに旅館等衛生関係営業施設における市民の健康被害を未然に防止する。

○結核対策事業: 入院勧告・就業制限や処方薬剤の確実な服用等を指導するなど、結核のまん延を防止する。

○感染症対策事業: 感染症患者の移送・検体採取・調査等各感染症のまん延を防止する。また、性感染症や肝炎の検査・相談事業を実施し特定感染症患者の早期発見及び拡大防止を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
○生活衛生対策推進事業 専用水道水質検査項目実施割合は高水準(95%以上)を維持した。 旅館等生活衛生関係施設の監視指導を実施し、当該施設の衛生の維持向上に努めた。	
○結核対策事業 結核罹患率(人口10万人当たり)は目標を達成できたが、引き続き結核患者の早期発見・治療に努め、まん延の防止を図る必要がある。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	生活衛生対策推進事業	－	○		55,631	2,991	7.2			0.8	
2	結核対策事業	－	－		58,927	21,355	4.6			1.4	1,452
3	結核健康診断費支援事業	－	－		14,035	12,495	0.1			0.3	
4	感染症対策事業	－	○		105,070	37,463	8.2			2.3	3,767
5	特定感染症対策事業	－	－		15,517	2,082	1.4			1.2	275
6	(新規)区再編準備事業	－	－	○							
7	生活衛生デジタル運営経費	－	－		4,326	4,326					
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					253,506	80,712	21.5			6.0	5,494

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 生活衛生対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○飲料水の安全を確保する。
○旅館等を安心して利用できる衛生的な施設とする。
○地域の衛生の向上を図るとともに、大規模災害における感染症のまん延等を防止する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務	旅館業法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健		⑥水・衛生				
事業とゴールの 関連性	○多くの消費者が利用する施設等の衛生管理を維持向上することで保健衛生の推進を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,737	4,820	1,908	2,606	2,395	2,991
	決算	5,182	4,242	1,276	2,606	1,726	
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,951	2,417	784	505	765	1,181
	一般財源	2,231	1,825	492	2,101	961	1,810
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		61,860	55,020	55,020	55,700	52,640	52,640
人工	正規	8.3	7.3	7.3	7.5	7.2	7.2
	再任用(31h)	0.5	0.7	0.7	0.5		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.7	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8
年間経費(予算又は決算+A+B)		67,042	59,262	56,296	58,306	54,366	55,631

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
専用水道水水質検査実施適合割合(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	99	99	99	99	99	
衛生検査において違反が判明した施設の改善率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	06	06	001085000	01	生活衛生課	落合 公信	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 水道施設等の水質管理状況を確認する。
- 旅館、公衆浴場、興行場、理容所、美容所、クリーニング所、遊泳用プール、墓地、特定建築物、建築物登録業及び温泉利用施設の監視指導を行う。浴槽水、プール水及びおしぼり等の衛生検査実施する。
- ハエ・蚊等の衛生害虫防除活動や大雨等で被災した家屋等の消毒に対し、必要に応じて自治会等を通じて薬剤の提供と適切な薬剤使用についての指導を行う。
- スズメバチについて、必要に応じて現地を確認するとともに、巣の駆除に関する指導を行う。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 専用水道水水質検査実施適合割合は高水準(95%以上)であり、飲料水は衛生的に維持されている。
- 旅館、公衆浴場、興行場などで、衛生に関する健康被害は発生していない。
- 衛生検査において違反が判明しても、その後の指導で、適切に改善されている。
- 永続性や非営利性が求められる墓地経営に対し、適正な指導を実施した。
- ハエや蚊等の衛生害虫の防除活動を支援し、地域の衛生状態は維持されている。
- ハチの巣の駆除等に関する相談に対して、適切に対応し、住環境の改善が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- 水道法の水質管理目標設定項目であるPFAS等が検出された地区があることが判明した。
- 旅館業法の改正により、宿泊拒否等の相談窓口として対応することとなった。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 人工

- 目標値を超えるPFAS等が検出された飲用井戸使用者に助言を行った。
- 民間事業型墓地の適正な許可及び健全な経営のため、取扱要領を改正した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 人工

- 現状の衛生水準の維持を基本とし、法改正などに適時適正に対応し、衛生上の危害の発生を防止する。
- レジオネラ属菌が検出された旅館・公衆浴場等に対して、重点的に監視・指導を行う。
- 民間事業型墓地に対する適正な許可及び健全な墓地経営を目指す。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 水道施設等の水質管理状況を確認する。
- 旅館、公衆浴場、興行場、理容所、美容所、クリーニング所、遊泳用プール、墓地、特定建築物、建築物登録業及び温泉利用施設の監視指導を行う。浴場水、プール水及びおしぼり等の衛生検査を行う。
- ハエ・蚊等の衛生害虫防除活動や大雨等で被災した家屋等の消毒に対し、必要に応じて自治会等を通じて薬剤の提供と適切な薬剤使用についての指導を行う。
- スズメバチについて、必要に応じて現地を確認するとともに、巣の駆除に関する指導を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 06	所属コード 001085000	事業 02	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 02 結核対策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○感染症法に基づく全数届けの感染症のうち最も警戒を要する結核への対策として、患者に対する医療の確保と治療支援並びに接触者に対する健診を実施することにより結核のまん延防止を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)	感染症法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	○結核の発生予防及びまん延防止を進めることで健康増進を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	36,400	28,506	27,331	26,254	25,633	21,355
	決算	21,712	22,955	13,035	26,254	13,769	
	国・県支出	1,236	15,411	16,008	16,997	16,128	12,541
	市債						
	その他						
	一般財源	20,476	7,544	-2,973	9,257	-2,359	8,814
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		1,392	1,392	1,392	1,393	1,122	1,452
人件費(人工分)(B)		38,220	36,820	43,120	36,120	36,120	36,120
人工	正規	4.9	4.7	5.6	4.6	4.6	4.6
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
年間経費(予算又は決算+A+B)		61,324	61,167	57,547	63,767	51,011	58,927

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
肺結核患者の服薬治療成功率(%)		目標	82	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	2025.6確定	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく結核対策業務
- 結核患者管理と医療費負担等治療支援
 - ・【法定受託】結核患者の発生届受理
 - ・【自治事務】治癒までの患者管理(病棟訪問、家庭訪問、職場調査)
 - ・【自治事務】感染症診査協議会(結核審査部会)の運営
 - ・【法定受託】入院勧告、就業制限
 - ・【自治事務】結核医療費の公費負担
 - ・【自治事務】直接服薬確認療法(DOTS事業)、薬局DOTS事業
 - ・【自治事務】定期病状調査
 - 定期外健康診断
 - ・【法定受託】家族等結核患者接触者に対する検診の実施、接触者健診及び精密検査の実施
 - 【自治事務】結核指定医療機関の指定

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 感染症法の規定及び国が定めた基準に基づき、法定受託事務及び自治事務を適正に執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 法令に基づく事業であり現状を維持する。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 法令に基づく事業であり現状を維持する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく結核対策業務
- 結核患者管理と医療費負担等治療支援
 - ・【法定受託】結核患者の発生届受理
 - ・【自治事務】治癒までの患者管理(病棟訪問、家庭訪問、職場調査)
 - ・【自治事務】感染症診査協議会(結核審査部会)の運営
 - ・【法定受託】入院勧告、就業制限
 - ・【自治事務】結核医療費の公費負担
 - ・【自治事務】直接服薬確認療法(DOTS事業)、薬局DOTS事業
 - ・【自治事務】定期病状調査
 - 定期外健康診断
 - ・【法定受託】家族等結核患者接触者に対する検診の実施、接触者健診及び精密検査の実施
 - 【自治事務】結核指定医療機関の指定

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 06	所属コード 001085000	事業 03	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 03 結核健康診断費支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○私立学校及び社会福祉施設の結核定期健康診断に係る経費の一部を助成することにより、早期に結核患者を発見し結核のまん延を防止する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1996	—	一般会計	自治事務(法令義務)	感染症法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健								
事業とゴールの 関連性	○結核の発生予防及びまん延防止を進めることで健康増進を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	9,618	9,375	10,367	11,125	11,763	12,495
	決算	9,077	9,344	9,761	11,125	11,071	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	9,077	9,344	9,761	11,125	11,071	12,495
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,540	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,617	10,884	11,301	12,665	12,611	14,035

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
助成対象学校の助成申請率(%) (助成申請学校数/助成申請案内文書送付学校数)		目標	95	95	95	97	97	100
		実績	95.1	100	100	100	100	
助成対象施設の助成申請率(%) (助成申請施設数/助成申請案内文書送付施設数)		目標	80	90	90	90	100	100
		実績	97.7	97.7	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○感染症法第60条第1項の規定により、学校等が行う定期の結核健康診断に係る経費に対して助成を行う。

助成対象

- ・感染症法第53条の2に規定する学校(大学、短期大学、高等学校、各種学校等)が行う入学年次の学生・生徒に対する定期の結核健康診断(国、都道府県、市町の設置する学校は除く)。
- ・感染症法第53条の2に規定する社会福祉施設(養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、障害者支援施設及び救護施設等)が行う65歳以上の入所者に対する定期の結核健康診断(国、都道府県、市町の設置する施設は除く)。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

○感染症法第60条第1項の規定による健診費用助成事務として適正に実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

○法令に基づく事業であり現状を維持する。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

○法令に基づく事業であり現状を維持する。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

○感染症法第60条第1項の規定により、学校等が行う定期の結核健康診断に係る経費に対して助成を行う。

助成対象

- ・感染症法第53条の2に規定する学校(大学、短期大学、高等学校、各種学校等)が行う入学年次の学生・生徒に対する定期の結核健康診断(国、都道府県、市町の設置する学校は除く)。
- ・感染症法第53条の2に規定する社会福祉施設(養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、経費老人ホーム、障害者支援施設及び救護施設等)が行う65歳以上の入所者に対する定期の結核健康診断(国、都道府県、市町の設置する施設は除く)。

事業シート

(事業名) 04 感染症対策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○感染症患者に対する医療に関し必要な措置をするとともに、検査体制の充実及び発生動向の調査等を実施する。また、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型インフルエンザのまん延の防止を図るなど総合的な感染症対策を進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1998	—	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)	感染症法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	③保健							
事業とゴールの 関連性	○感染症の発生予防及びまん延防止を進めることで健康増進を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	7,888	263,802	901,823	1,719,067	285,452	37,463
	決算	4,219	169,068	749,626	622,439	197,412	
	国・県支出	2,886	177,252	522,859	360,902	116,813	23,466
	市債						
	その他		164	378	58,847	18,043	20
	一般財源	1,333	-8,348	226,389	202,690	62,556	13,977
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)		555	555	4,266	4,266	3,689	3,767
人件費(人工分)(B)		35,000	35,700	59,500	102,900	93,660	63,840
人工	正規	4.6	4.7	8.1	13.1	11.1	8.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	4.0	5.7	2.3
年間経費(予算又は決算+A+B)		39,774	205,323	813,392	729,605	294,761	105,070

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
麻しん病原体検査実施率(行政検査件数／ 発生届出件数)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 06	所属コード 001085000	事業 04	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○感染症の予防及び患者への医療費扶助事業

- ・【法定受託】患者の移送
- ・【法定受託】検体採取及び検体調査
- ・【自治事務】新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく浜松市行動計画のマニュアル整備
- ・【自治事務】感染症予防対策
- ・【自治事務】感染症相談
- ・【自治事務】感染症診査協議会(感染症審査部会)の運営
- ・【法定受託】感染症の発生動向を調査するための事業(緊急性の高い情報収集、強い権限による情報収集)
- ・【自治事務】感染症の発生動向を調査するための事業(統計的な情報収集、権限の性質が低い協力要請事務)
- ・【自治事務】予防計画の策定

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

○感染症届出後の迅速な対応が必須な中、感染力の強さから現在最も注視されるとともに増加傾向にある「麻しん」を指標としており、届出に対し全員を行政検査につなげ、的確なまん延防止措置がとられた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和4年12月9日公布の感染症法の改正法によって、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた関係機関における連携強化、保健所の体制強化等が順次施行された。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

- 感染症法に基づき、感染症発生時の迅速・的確な対応とまん延防止対策を適正に実施した。
- 感染症法等の改正に伴い、患者発生時等に適時適切に対応した。
- 庁内連携を図るため、組織等の規定について保健衛生と危機管理の両部門で確認を進めた。
- 市新型インフルエンザ等対策マニュアルをより実効性のあるものにするための確認作業を進めた。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 現状 / 事業費 現状 人工 現状

- 危機管理部門を中心とした庁内全体での連携体制について調整を進めていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

○感染症の予防及び患者への医療費扶助事業

- ・【法定受託】患者の移送
- ・【法定受託】検体採取及び検体調査
- ・【自治事務】新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型インフルエンザ対策
- ・【自治事務】感染症予防対策
- ・【自治事務】感染症相談
- ・【自治事務】感染症診査協議会(感染症審査部会)の運営
- ・【法定受託】感染症の発生動向を調査するための事業(緊急性の高い情報収集、強い権限による情報収集)
- ・【自治事務】感染症の発生動向を調査するための事業(統計的な情報収集、権限の性質が低い協力要請事務)
- ・【自治事務】予防計画の策定及びこれの改正に係る継続的な情報収集並びに平時における準備

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 06	所属コード 001085000	事業 05	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 05 特定感染症対策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○性感染症や肝炎についての啓発活動・検査体制の充実を図ることにより、特定感染症患者の早期発見及び感染拡大の防止を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1988	—	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)	感染症法及び厚生労働省通知

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	○性感染症の発生予防及びまん延防止を進めることで健康増進を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	2,927	1,993	1,891	2,093	2,113	2,082
	決算	1,361	1,123	1,532	1,427	1,464	
	国・県支出	1,361	1,018	1,242	1,112	1,033	1,096
	市債						
	その他						
	一般財源		105	290	315	431	986
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)		101	101	101	152	173	275
人件費(人工分)(B)		11,340	12,740	12,740	12,740	12,740	13,160
人工	正規	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.2
年間経費(予算又は決算+A+B)		12,802	13,964	14,373	14,319	14,377	15,517

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
HIV等の受検者数(人)		目標	1000	1000	1000	1000	1000	1000
		実績	762	93	62	293	483	
啓発活動に係るイベント(講座・キャンペーン等)の件数(回)		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	2	1	1	1	2	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	05	02	06	06	001085000	05	生活衛生課	落合 公信	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

感染症法及び「特定感染症検査等事業実施要綱(厚生労働省健康局長通知)」に基づき実施する。

○特定感染症の検査実施疾病

- ・後天性免疫不全症候群、梅毒、B型肝炎、C型肝炎
(対象者 上記疾病への感染について、検査及び相談を希望する者)

○事業内容

- ・【自治事務】性感染症対策事業
血液検査・相談事業
HIV感染者及びエイズ患者への支援(家庭訪問・医師連絡)
啓発活動事業(市民に対する健康教育、世界エイズデー、HIV検査普及週間)
- ・【自治事務】肝炎対策事業
B型・C型のウイルス性肝炎対策(普及啓発、検査事業)、相談事業
陽性者フォロー業務

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

○性感染症や肝炎に関する相談及び検査を希望する者に対する啓発活動を進めるとともに利用しやすい日程等を制度化し、多くの市民が当該事業を利用した。

○2023年5月以降、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、コロナ前の回数へ戻して対応し、実績数が伸びた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、相対的に性感染症全般に対する関心が高まっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○国の基準に基づき、性感染症対策・肝炎対策に関する啓発活動及び検査事業を適正に実施した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○今後も国の基準に基づき、性感染症対策・肝炎対策として啓発活動及び検査事業を適正に実施していく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

感染症法及び「特定感染症検査等事業実施要綱(厚生労働省健康局長通知)」に基づき実施する。

○特定感染症の検査実施疾病

- ・後天性免疫不全症候群、梅毒、B型肝炎、C型肝炎
(対象者 上記疾病への感染について、検査及び相談を希望する者)

○事業内容

- ・【自治事務】性感染症対策事業
血液検査・相談事業
HIV感染者及びエイズ患者への支援(家庭訪問・医師連絡)
啓発活動事業(市民に対する健康教育、世界エイズデー、HIV検査普及週間)
- ・【自治事務】肝炎対策事業
B型・C型のウイルス性肝炎対策(普及啓発、検査事業)、相談事業
陽性者フォロー業務

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 06	所属コード 001085000	事業 06	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 06 (新規)区再編準備事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

区再編準備に要する経費(生活衛生管理システム(畜犬業務)の改修)

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	2023	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	区再編に伴う生活衛生管理システム改修を行うことにより、保健衛生の向上を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					1,584	
	決算					1,584	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源					1,584	
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)						1,584	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
システムの改修率		目標					100.0	
		実績					100.0	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

○生活衛生管理システム(畜犬業務)について、区再編に伴う出力変更に対応できるように改修を行う。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度
システム改修は適切に完了した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
必要な改修が完了したため。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

(管理番号)									
2024年度	分野 05	基本政策 02	政策 06	予算費目 06	所属コード 001085000	事業 07	(担当課) 生活衛生課	(責任者) 落合 公信	(基準日) 2024.7.1

事業シート

(事業名) 07 生活衛生デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

生活衛生課(生活衛生費)のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		③保健							
事業とゴールの 関連性	生活衛生分野のデジタル事業を推進することにより、保健衛生の向上を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			3,689	11,997	4,425	4,326
	決算			3,688	11,997	4,423	
	国・県支出						
	市債						
	その他			2,266	2,305	1,962	1,561
	一般財源			1,422	9,692	2,461	2,765
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,688	11,997	4,423	4,326

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
トラブル発生時の改善率		目標			100.0	100.0	100.0	100.0
		実績			100.0	100.0	100.0	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- 生活衛生管理システムを適切に活用し、営業者への効率的な指導を行う。
○画像診断ワークシステムを適切に活用し、結核予防の効率的な運用を図る。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度
適切に活用することができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
特になし

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
法改正や規則改正の状況に応じ、生活衛生管理システムの修正を随時行っていく。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

今後も、引き続き、生活衛生管理システム、画像診断ワークシステムを適切に活用していくため、保守点検を行う。